

令和7年度 体力向上における各校の取組みと成果(小学校)

永平寺町

教育委員会

No	学校名		項 目	具体的な取組み	成 果
1	松岡	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	ICTの活用(タブレットでの動画撮影やワークシートの活用、お手本動画の視聴) マラソン体験会月間には業間運動でグラウンドのランニングを行う。また、なわとび大会月間でも同様になわとびの使用を許可する。	積極的なICTの活用をすることで、映像や数値により技能の向上を実感できたため、できた喜びを味わい、自ら運動をしようとする意欲的な姿が見られた。
2	吉野	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	業間体育で、高学年が低学年に対して、一輪車が乗れるように声掛けや補助を行うことで、伝統を引き継ぎ、一輪車への興味・関心を高められるようにする。	5年生が作成した技能検定表を使ったことで、高学年が目標を定めて技能指導を行い、低学年が段階的に乗れるようになった。昼休みなどで、低学年が一輪車に乗る様子が多々見られた。
3	御陵	小学校	本校の体力向上の取組みについて	体育の準備運動や業間運動でランニングや大縄跳びを取り入れる。	目標を持って運動に取り組む、マラソンチャレンジや縄跳び大会で多くの児童が自己ベストを更新し、達成感を味わうことができた。
4	志比	小学校	その他	学校の取組みとして「元気アップカード」を家庭と連携して行う。項目として、食生活・睡眠時間・スクリーンタイム・姿勢等を年間通して行い、健康教育を推進する。	「元気アップカード」を行った結果、学校アンケートの「あなたは、視力や歯・姿勢などの健康に気をつけていますか。」の項目で6月(86.44%)から12月(89.47%)で3.03%アップし、健康に気をつけていると児童が肯定的にとらえていた。
5	志比南	小学校	本校の体力向上の取組みについて	学習前には、オリエンテーションを行い、各領域・種目において、活動の意味やめあてを伝えて、ゴールの姿に見通しをもって活動できるようにしたり、系統性を意識して学習できるようにしたりするために体育担当教員で教材研究を欠かさず行った。	学校評価において、体を動かすことが好きと答えた児童が約90%だった。授業を通して、体を動かすことの楽しさや達成感を味わえる機会が多くできたことが要因と考える。
6	上志比	小学校	児童生徒の運動習慣の育成について	縄跳び運動(短縄跳び、長縄跳び)の通年実施	縄跳び運動を通年で実施したことで、休み時間の度に廊下で縄跳びをしている児童が増加した。